

佐世保市議会
令和2年3月定例会 個人質問順序

質問日	順序	議席 番号	氏名	所属会派	質問方式	質問 時間
3月4日 (水)	1	32	古家 勉	市民クラブ	【一括方式】	30分
	2	25	田中 稔	自民党市民会議	【一括方式】	30分
	3	6	宮田 京子	自民党市民会議	【一問一答方式 (1回目から)】	30分
	4	9	萩原 活	自民党市民会議	【一括方式】	25分
	5	4	小田 徳顕	日本共産党	【一問一答方式 (1回目から)】	15分
3月5日 (木)	6	11	佐藤 文子	公明党	【一括方式】	20分
	7	18	山口 裕二	自民党市民会議	【一問一答方式 (1回目から)】	15分
	8	12	久野 秀敏	市民クラブ	【一括方式】	15分
	9	24	大村 哲史	自民党市民会議	【一問一答方式 (1回目から)】	20分
	10	14	北野 正徳	自民党市民会議	【一問一答方式 (1回目から)】	30分
	11	16	永安 健次	自民党市民会議	【一問一答方式 (2回目から)】	25分
3月6日 (金)	12	1	田山 藤丸	自民党市民会議	【一問一答方式 (2回目から)】	20分
	13	3	松尾 俊哉	市民クラブ	【一括方式】	15分
	14	2	鶴 大地	自民党市民会議	【一問一答方式 (2回目から)】	30分
	15	5	角田 隆一郎	自民党市民会議	【一括方式】	30分

○ 古 家 勉 (30分)

【一括方式】

1 前畑弾薬庫の針尾島弾薬集積所への移転・集約に係る進捗について

国は、平成30年度から令和元年度にかけて、弾薬庫移設工事のため工事用道路に関する検討を進めている。令和2年度にはルート調査や測量に入るための予算が計上されているが、移転・集約を進めるにあたり、安全・安心を前提に、地元の声や意見を聞き、理解を得ることが重要と考えるが、その取組について問う。

2 I R誘致における地元対策について

I Rの実現に向け県・市において検討が進んでいるが、市民、特にI R候補地の近隣住民の中には不安の声もある。そこで、今後の地元への説明及び対策について問う。

3 住宅用火災警報器について

住宅用火災警報器の設置義務化から10年が経過したが、住宅用火災警報器の設置効果と問題点及び今後の対策について問う。

○ 田 中 稔

(30分)

【一括方式】

1 外国人観光客の受入れ体制について

- クルーズ船受入れの課題について
- クルーズ船受入れに伴う消費の状況について
- クルーズ船キャンセルに伴う経済的損失について
- 松浦公園乗降場の利用状況並びに消費の動向について
- 寄港地観光における市内大型バスの利用（配車）状況について
- その他インバウンドの動向について
- IRへのMICE誘致について

2 土地改良区の在り方について

- 土地改良区連絡協議会の現状と課題について
- 今後の土地改良区について

3 建築物の在り方について

- 今ある建築物の耐震化について
- 人口減少社会における空家問題について
- 既にある建築物が周辺環境に与える影響について

○ 宮 田 京 子 (30分)

【一問一答方式（1回目から）】

1 電子母子健康手帳の導入と父子手帳の配付について

全国的に家庭内における子どもの虐待事件が後を絶たない。虐待は、外部からは気づきにくいもので、子どもの安全を確保するには、まずは親が愛情と責任を持つべき。その一助となるのが、日本で創設された母子健康手帳であろう。その活用の現状を伺いたい。また、この制度は平成30年に70周年を迎えた。近年は電子母子健康手帳を導入する自治体も多い。本市での導入を検討してはどうか。また、父親に対して父子手帳を配付する考えはないか。

2 魅力的観光地アピールとしてのプレミアム婚姻届の創設について

婚姻届は本籍地または所在地で提出できるので、一時的な滞在地、つまり旅行先で提出することも可能となる。そこで、観光に重きを置く本市としては、魅力的なプレミアム婚姻届を新設し、新たな人生のスタートを切る場所としてアピールしてはどうか。もちろん市内在住者にとっても、思い出に残る記念すべきものとできる。交流人口増への小さなきっかけとなり得るよう、本市独自の取組を企画してはどうか。

3 本市大型プロジェクトに対する市民目線による位置づけについて

本市の施策には、IR誘致、クルーズ船受入れの港湾整備、動植物園の移転問題、名切地区公園整備など大型のプロジェクト及び課題がめじろ押しである。これらが地域経済を牽引していく要素であることは理解できる。しかし一方で、少子高齢化の著しい本市において、高齢者や低所得者などの市民生活には直結しない施策もあり、社会的弱者に対してどのような形で効果を期待するのか伺いたい。あわせて、ハード事業とソフト事業のバランスにおける方針についても伺いたい。

○ 萩 原 活 (25分)

【一括方式】

1 佐世保市における人口減少対策について

- 佐世保市第7次総合計画における人口減少対策について
- 近年の出生数の現状と今後の出生数増加につながる対策について
- 出生数の増加のためにはまず結婚と考えられるが、本市における婚姻数の現状について
- 本市における婚活事業の現状と今後の課題について

2 佐世保市の今後における子育て支援について

- 佐世保市における「新させぼっ子未来プラン」の推進について
- 地域での子育て支援における「ファミリーサポートセンター事業」の在り方について
- 親子への切れ目ない支援と育児への不安の軽減について

○ 小 田 徳 顕 (15分)

【一問一答方式 (1回目から)】

1 石木ダム建設事業について

長崎県と佐世保市が進める石木ダム建設事業のため、川棚町川原地区13世帯の住民は昨年、土地や建物の権利を奪われました。行政代執行が行われる可能性がある中で日々暮らし続けなければならない今の状況は、憲法で保障された基本的人権がないがしろにされた状況です。

いまだかつて例のない、住民を強制的に排除して行うダム建設が必要なのか、重要な意味を持つ事業の再評価が上下水道事業経営検討委員会に諮問され、審議が行われましたが、委員会を傍聴した中で疑問点等がありました。その点について当局の見解を問う。

- 再評価制度について
- 委員会の運営について
- 水需要予測について
- 代替案について
- 費用対効果分析について

2 カジノを含むIR事業について

- 運営事業者への対応について

3 公立・公的病院の再編統合について

- 今後の対応について

○ 佐藤文子 (20分)

【一括方式】

1 がん支援体制整備（アピアランスケア）について

2017年、がん対策基本計画が改定され、次の10年間の具体的なビジョンが示された。

基本計画の柱は、「がん予防」、「がん医療の充実」、「がんとの共生」の三つである。特に「がんとの共生」の視点から本市の取組、課題を伺う。

2 ままんち させぼ（産後ケア事業）について

「ままんち させぼ」が開設され約3年経過した。産科と連携した産後ケアの実施や、子育て支援に注力されている。子ども保健課のアンケートでは、総じて満足という評価であったとのことであるが、事業内容の認知度や、利便性の面では改善の余地ありとの見解を出されている。

この事業をより充実させるための、今後の展開、課題について伺う。

○ 山 口 裕 二 (15分)

【一問一答方式 (1回目から)】

- 1 指定管理者制度について
 - 指定管理の現状について
 - 今後の取組について

○ 久野 秀 敏 (15分)

【一括方式】

1 公園の在り方について

平成14年6月に策定された「緑の基本計画」も令和3年度には見直しの時期を迎えようとしています。また、平成29年6月に都市緑地法の一部が改正され、都市公園の特性に応じた管理の方法や公園施設の老朽化対策の方針、官民連携や機能再編について「緑の基本計画」に記載することが望ましいとされております。現在は、公園施設の長寿命化計画に基づき、老朽化対策など緊急性の高い施設から順次施設の更新が行われておりますが、公園を必要とされる自治会からの要望については、「新設は財政上難しく、市街化区域の未整備地区においても必要性について検討している状況である」と聞き及んでおります。

- 公園の現状について
- 公園の新設や統廃合に対する考え方について

2 町内会支援制度について

- 町内、自治会集会所等施設整備補助制度の拡充について
- LED防犯灯の取替えに対する補助制度について

3 防災行政について

- 近年、大雨の発生頻度が増加し、集中豪雨による災害が全国的に頻発化、激甚化している中で、本市においても、大規模な災害がいつ発生してもおかしくない時代になってきております。

大規模化する災害に備えるための防災減災対策について、市民への情報伝達や河川における対策など本市の取組について伺います。

○ 大 村 哲 史 (20分)

【一問一答方式 (1回目から)】

1 都市計画道路の在り方について

- 都市計画道路の設定と考え方について
- 農用地内の都市計画道路について
- 都市計画道路の今後のスケジュールについて (改廃)

○ 北野正徳 (30分)

【一問一答方式 (1回目から)】

1 学力向上と学期制変更について問う。

2 学期制を3学期制に戻すことの大きな理由に「確かな学力の育成」への懸念が示されているが、学期制と学力の相関関係や学力の評価と指導の仕組み、また、これまでの2学期制を自己評価し、その成果とされたことに対する今後の懸念について問うものである。

2 国土強靱化と治山治水について問う。

本市においても国土強靱化計画の策定が進められているが、治山治水政策としての治山ダム、砂防ダム、河川堰の現状と課題、人工林と自然林の育成管理について問うものである。

3 平成の大合併の成果について問う。

平成の大合併の開始から15年程度が経過し、第7次総合計画においては「合併地域」という表記がなくなり、合併算定替も令和2年度で終了する中、平成の大合併をどのように総括するのかを問うものである。

○ 永 安 健 次 (25分)

【一問一答方式（2回目から）】

1 水道事業の統合計画について

水道事業の統合については、簡易水道区域の統合に一定の進捗が見られる一方、北部エリアの水道事業については今なお独立した形での事業運営が行われています。

一部地域によっては不安定な水源のため、水不足の不安を抱えながらの生活を余儀なくされており、公平な給水サービスの確保が担保されていないのが現状です。

そこで、本市水道事業の統合計画の現状をお伺いするとともに、水道事業の地域格差解消に向けた取組について質問をします。

2 子どもたちの遊び場環境について

以前は、遊具や砂場で遊ぶ子どもたちの風景がよく見られていましたが、最近では遊び方が変化したのか、環境が変わったのか、様子が変わってきたように感じます。一方、保護者の方の声を聞けば、子どもたちが遊べる場所がないなどの声を聞くことも度々あります。

そこで、子どもたちが自由に遊べる公園の整備状況と管理方法についてお伺いします。

あわせて、学校等の運動場の遊び場としての開放状況についてもお伺いします。

3 ウェストテクノ佐世保周辺の道路環境の改善について

佐世保工業団地「ウェストテクノ佐世保」周辺の道路環境は、佐々川右岸の県道拡幅工事が完了し、車両の流れにも若干の変化が見られるようになったところですが、朝夕の交通量は今なお増加傾向にあります。近隣では交通量の増加に伴って、交通事故や住民とのトラブル、苦情等も増加しています。

また、当該箇所は一本の県道のみ依存している交通環境で、事故の規模によっては交通が完全に遮断される脆弱な環境にあります。実際、最近起きた交通事故では、車両の交通規制が行われ、渋滞も発生し、通勤、通学に大きな影響が出たと聞いています。さらに、工業団地内の企業においても生産活動の始業開始に支障を来した状況も発生しています。

そこで、工業団地周辺の道路環境について、現状把握と改善策についてお伺いするとともに、抜本的な産業道路確保の必要性について質問します。

○ 田 山 藤 丸 (20分)

【一問一答方式 (2回目から)】

1 若者の定住促進について

- 定住人口増減率の分析
- 学生の地元企業とのマッチング
- 公園遊具、屋内遊び場の在り方

2 次期都市計画マスタープランについて

- 水陸機動団を取り巻く環境整備
- 相浦土地改良区の現状と今後の可能性

3 自治体シンクタンクの役割と大学連携について

- 政策推進センターの設立意義と今日までの成果
- 大学との連携の在り方

○ 松 尾 俊 哉 (15分)

【一括方式】

1 公共施設の複合化について

- 複合化に向けての進捗状況について
- 複合化により生じる利用することのない建物や敷地等の利活用について

2 必要となる人材の確保について

- 合併町の支所における職員削減が実施されるとのことだが、住民サービスの低下とはならないのか
- 職員の休暇時の対応はどのようにするのか
- 特殊技能を必要とする人材の確保について

3 地域医療体制について

- 総合医療センターにおいて「7：1」看護体制の確保が出来なくなりつつあると聞くが、現状はどうなっているか
- 医師確保のための寄附講座の設置をはじめ、医療従事者確保のための取組をされているが、その効果はどうか
- 看護師の人材確保策について

○ 鶴 大 地 (30分)

【一問一答方式（2回目から）】

1 「Society5.0」の実現について

内閣府の第5期科学技術基本計画において、我が国が目指すべき未来社会の姿として提唱された「Society5.0」の実現に向けた本市の考えをお伺いします。

- 「GIGA スクール構想」について
- 「スーパーシティ構想」について
- 「キャッシュレス社会」について

2 「赤ちゃんの駅」整備の必要性について

「佐世保市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標Ⅲ「多様なライフスタイルにあわせた結婚・出産・子育ての希望をかなえる」では「地域全体で子育てをサポートできる環境づくりを行っていくことで、あたたかく子どもと子育てを支えるまちづくりを進めます。」とあります。より良い環境づくりのために、「赤ちゃんの駅」の整備が必要だと考えますが、本市の考えをお伺いします。

○ 角 田 隆 一 郎

(3 0 分)

【一括方式】

1 考古学学会の誘致について

- 福井洞窟ガイダンス施設（仮称）のオープンは、「日本一の洞窟のまち」をアピールする絶好の機会であり、I R 誘致を行っている現状でのコンベンション誘致の実績づくりとしても考古学学会を誘致すべきだと考えるが、その認識について問う。
- 福井洞窟ガイダンス施設（仮称）のオープンに伴い、食事場所、休憩場所、お土産店などおもてなし施設として近隣の公共施設等を活用できないのかを問う。

2 J R 九州の株を取得することについて

- 九州新幹線西九州ルート運用に伴い、佐世保～博多間の特急みどりの直通運行が維持できなくなる可能性があるため、佐世保市が株主となり、J R 九州と直接交渉、情報交換ができないのかを問う。

3 おくすりネット長崎の導入について

- 患者の調剤情報を共有し、投薬の重複や併用禁忌のチェックによる安全・安心な環境の構築について問う。

4 健康診断の促進について

- 健康寿命を維持するため健康診断を推進し、特に小中学校の女子に対して乳がん検診に使う模型を使って乳がんの早期発見に役立たせるなど、若年期から健康診断の重要性を認知、啓蒙させる取組状況について問う。